

認知神経リハビリテーションベーシックコース（東京2）プログラム

1日目 平成28年10月8日（土）

08:30～09:00：受付開始

【認知神経リハビリテーションと中枢神経系における問題】

09:00～09:15：コースイントロダクション 鶴埜

09:15～10:00：脳科学と認知神経リハビリテーション 富永

10:00～10:10：休憩

10:10～10:55：中枢神経系の情報構築のエラーと行為 尾崎

10:55～11:40：中枢神経系の情報構築のエラーと言語 稲川

11:40～12:20：昼休憩

【認知神経リハビリテーションのテキスト】

12:20～13:50：テキストから読み解く認知理論と行為の学習の基礎 宮本

13:50～14:00：休憩

14:00～15:00：身体を介したグループディスカッション1 認知理論を多感覚統合する

15:05～15:20：休憩

15:20～16:40：テキストから読み解く認知神経リハビリテーションの臨床の進め方 鶴埜

16:50～17:50：身体を介したグループディスカッション2 訓練の展開を多感覚統合する

17:50～18:10：まとめ 鶴埜

19:00～21:00 レセプション

2日目 平成28年10月9日（日）

【訓練という行為の経験から多感覚統合の意味を知る】

09:00～12:00：身体を介したグループディスカッション3 行為と訓練の関係性を身体化する

12:00～12:50：昼休憩

【認知神経リハの臨床における注意点】

12:50～13:35：片麻痺の認知神経リハで注意すること 内倉

13:35～14:20：高次脳機能障害の認知神経リハで注意すること 富永

14:20～14:30：休憩

14:30～15:15：痛みの認知神経リハで注意すること 尾崎

15:15～16:00：複数の訓練と行為との関係性の注意点(多感覚統合の考え方) 安田

16:00～16:10：休憩

【これからの臨床と研究に向けて】

16:10～16:50：行為間比較の概説 宮本

16:50～17:10：コース全体のまとめ 鶴埜

身体を介したグループディスカッション

(以下、基本的な実際の訓練の意味について経験、受講生約4名に対し1名の指導者が担当)

1. 中枢神経疾患PT初学者向け

- ・ 上肢：リーチ動作の行為
 - ①到達のコンポーネント：タブレットのマス
 - ②アプローチ，把持，操作のコンポーネント：手でのスポンジ
- ・ 下肢：歩行の行為
 - ③支持，到達のコンポーネント1：臥位で行われる下肢の訓練
 - ④支持，到達のコンポーネント2：坐位での前後方向の傾斜板
 - ⑤支持，到達のコンポーネント3：坐位での足底下の不安定板
- ・ 体幹：上下肢の行為の基礎として
 - ⑥垂直性のコンポーネント：五目板
 - ⑦支持性のコンポーネント：立位での骨盤のスポンジ
 - ⑧垂直性と支持性のコンポーネント：臥位での体幹のスポンジ

2. 中枢神経疾患OT初学者向け

- ・ 上肢：リーチ動作の行為
 - ①到達のコンポーネント1：タブレットのマス
 - ②到達のコンポーネント2：タブレットの図形
 - ③アプローチのコンポーネント：ポンテとラルケット
 - ④把持，操作のコンポーネント：手での表面素材とレーゴリ，スポンジ
- ・ 下肢：歩行の行為
 - ⑤支持，到達のコンポーネント：坐位での前後方向の傾斜板
- ・ 体幹：上下肢の行為の基礎として
 - ⑥垂直性のコンポーネント：五目板
- ・ 失行症者への訓練とプロトコルに基づく観察
 - ⑦視覚と視覚，視覚と体性感覚，視覚と言語の情報変換の訓練
 - ⑧De Renziの模倣検査，FLORIDAテスト

3. 整形外科疾患PT初学者向け

- ・ グループ2の訓練
 - ①下肢体幹のスポンジの基本的な訓練
 - ②臥位での腰背部のスポンジ
- ・ グループ3の訓練
 - ③肩関節での円軌道
 - ④肩関節内外旋と表面素材の識別
 - ⑤足での表面素材，板
 - ⑥立位での軌道板
- ・ グループ4の訓練
 - ⑦傾斜板での足底の表面素材
 - ⑧臥位での下肢の表面素材の訓練

4. 整形外科疾患OT初学者向け

- ・ グループ2の訓練
 - ①上肢体幹のスポンジの基本的な訓練
- ・ グループ3の訓練
 - ②手での表面素材，レーゴリ
 - ③肩関節内外旋と表面素材の識別
 - ④足での表面素材，板
 - ⑤五目板
- ・ グループ4の訓練

- ⑥タブレットの図形
- ⑦タブレットのマスと表面素材の識別
- ⑧円軌道と摩擦の識別

5. ST初学者, もしくはPT, OTリピーター向け

- 失語症者への観察と訓練の絵カード
 - ①表情, ジェスチャー
 - ②行為に関わる名詞
 - ③行為の動詞
 - ④内的空間概念と身体部位, 歩行
 - ⑤外的空間概念, 人称, 位置
 - ⑥行為のシーケンス
- 失行症者への訓練とプロトコールに基づく観察
 - ⑦視覚と視覚, 視覚と体性感覚, 視覚と言語の情報変換
 - ⑧De Renzi の模倣検査, FLORIDA テスト